

東京工業大学研究用微生物等安全管理委員会
実験室バイオセーフティ指針

令和 3 年 2 月 25 日施行

令和 4 年 5 月 10 日改定

令和 6 年 3 月 26 日改定

東京工業大学

目 次

別表 1 微生物のレベルの分類基準

付表 1－1 研究用微生物等のリスク群分類

付表 1－2 リスク評価項目

付表 1－3 動物実験におけるリスク評価項目

別表 2 実験手技と安全機器

別表 3 実験室の安全設備基準と、安全設備及び運営基準

別表 4 動物実験室の安全設備基準と、安全設備及び運営基準

別表 A 微生物のレベル（B S L）分類

別表 B 生物の取扱等に係わるその他の法令等

別表 1 微生物のレベルの分類基準

微生物の取扱いにおいては、微生物のリスク群分類（付表 1－1）を基準として、付表 1－2 に示した各項目をリスク評価し、微生物の B S L の分類（別表 A）を定め、これに対応する実験手技と安全機器（別表 2）及び実験室の設備（別表 3）を適用することで、微生物取扱等責任者及び微生物取扱等従事者（以下「微生物取扱等責任者等」という。）と以下に掲げる関連者の安全を確保する。また、実験動物における微生物の取扱いについても同様とする（付表 1－3、別表 4）。

付表 1－1 微生物のリスク群分類

本表においては、検定・検査・研究活動を行う実験室における通常の取扱量及び取扱方法を考慮し、ヒトへのリスクを基準として、微生物を 4 つのリスク群に分類したものであり、家畜、環境、大量生産、バイオテロリズム対策など、それ以外の条件下における微生物のリスク群分類としては利用できない。微生物取扱等責任者等及び「関連者」（微生物取扱等従事者等と感染の可能性がある接触が直接あるいは間接的に起こりうるその他の人々）の健康への影響に基づき、WHO の「実験室バイオセーフティ指針第 3 版（2004 年）」の考え方をもとにして分類されている。ここでの「動物」は、哺乳動物等（哺乳綱及び鳥綱に属する動物でヒトを含む）とする。

リスク群 1（微生物取扱等責任者等及び関連者に対するリスクがないか低リスク）

ヒトあるいは動物に疾病を起こす見込みのないもの

リスク群 2（微生物取扱等責任者等に対する中等度リスク，関連者に対する低リスク）

ヒトあるいは動物に感染すると疾病を起こし得るが、微生物取扱等責任者等や関連者に対し、重大な健康被害を起こす見込みのないもの。また、実験室内のばく露が重篤な感染を時に起こすこともあるが、有効な治療法、予防法があり、関連者への伝播のリスクが低いもの

リスク群 3（微生物取扱等責任者等に対する高リスク，関連者に対する低リスク）

ヒトあるいは動物に感染すると重篤な疾病を起こすが、通常、感染者から関連者への伝播の可能性が低いもの。有効な治療法、予防法があるもの

リスク群 4（微生物取扱等責任者等及び関連者に対する高リスク）

ヒトあるいは動物に感染すると重篤な疾病を起こし、感染者から関連者への伝播が直接又は間接に起こり得るもの。通常、有効な治療法、予防法がないもの

付表 1－2 リスク評価項目

微生物を実験室内で取り扱う場合の微生物の取扱いの具体的なBSLの分類は、付表 1－1（微生物のリスク群分類）を参照に、WHOの「実験室バイオセーフティ指針第3版（2004年）」の考え方をもとにして、以下の各項目をリスク評価して決定する。

1. 取り扱う微生物の病原性（量、取扱い条件も考慮する。）
2. 微生物の取扱様式（エアロゾル発生の有無を考慮する。）
3. 取り扱う微生物が国内に常在するか否か。
4. 取り扱う微生物の伝播様式と宿主体（取り扱う微生物に対する免疫状況、宿主集団の密度及び移動、媒介動物の存在、衛生状況も考慮する。）
5. 有効な予防対策法をとることができるか否か（予防接種等による予防、衛生対策、宿主動物又は媒介動物対策も考慮する。）。
6. 有効な治療法がありそれを受けることができるか否か（血清療法、ばく露後ワクチン接種及び抗菌剤、抗ウイルス剤その他の化学療法剤も考慮する。）。
7. 薬剤耐性株の出現の可能性

註：本学においては、

- ① 国内に常在しない微生物については、より高いBSLに分類する場合がある。
- ② 臨床検体及び診断用検体については通常BSL 2で取り扱うものとする。ただし、臨床診断等からBSL 3以上の微生物等が内在されていることが疑われるときは、本学で取り扱うことはできない。
- ③ ヒト細胞について、提供元がBSL 2と指定している場合は、BSL 2で取り扱うものとする。

なお、提供元からBSLの指定が無い場合、又はBSL 1以下と指定された場合について、未知の微生物等が含まれる可能性があるときには、BSL 2で取り扱う。ただし、BSL 3以上の微生物等が内在されていることが疑われるときは、本学で取り扱うことはできない。

- ④ 環境試料については、飛散やエアロゾル発生のおそれが無ければBSL 1として扱うものとし、実験等により微生物等の有無、名称等が明らかになった場合は、その微生物のレベルに応じた措置を講じ、取り扱うこととする。ただし、採取地・採取時期、感染症の発症の有無、動物種等の状況により、汚染されているおそれや、飛散またはエアロゾル発生のおそれがある場合はBSL 2として取り扱うものとし、BSL 3以上の微生物等が内在されていることが疑われるときは、本学で取り扱うことはできない。
- ⑤ 提供元が指定するBSLが本指針の記載より高い場合は、提供元の指定するBSLで取り扱うこととする。

付表 1－3 動物実験におけるリスク評価項目

微生物を用いた動物実験においては、付表 1－2 に以下の項目を加え、実験動物及びヒトへの感染のリスク評価を行い、A B S L 分類を決定する。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 取り扱う微生物の実験動物間での感染・伝播様式2. 取り扱う微生物を実験動物に接種する場合の感受性3. 接種した微生物の体外への排出機構及びその量4. 感染動物が野外へ出た場合、同種野生動物への感染及びヒトへの伝播 |
|--|

註：感染を伴わない毒素接種による検査については、別途考慮する。

別表 2 実験手技と安全機器

微生物のBSLの分類と、実験室のBSLの分類、実験室使用目的、実験手技及び安全機器との関連性

本学において、微生物を取り扱う実験室は、実験室の設計上の特徴、建築法、封じ込め設備、実験室内に設置される機器、実験手技や機器の運用方法に基づき、取り扱う微生物のBSLに対応して決定される。下の表における実験手技と安全機器は、微生物を取り扱う際に必要な実験室のBSLを決定するための基準と、微生物のBSLとの関連性を示したものである。ただし、微生物のBSLは複数の要因を複合的に判断して決定するため、微生物のBSLと使用すべき実験室のBSLは、厳密に1対1対応するものではない。

微生物のBSL	実験室のBSL	実験室の使用目的	実験手技及び運用	実験室の安全機器
1	基本実験室 －BSL 1	教育，研究	GMT	特になし。 (開放型実験台)
2	基本実験室 －BSL 2	一般診断検査，研究	GMT，PPE，バイオハザード標識表示	研究用微生物等の取扱いはBSCで行う。
3	本学では取扱い等をしない。			
4				

*略語：BSC：生物学用安全キャビネット，GMT：標準微生物学実験手技
PPE：個人用ばく露防止器具

別表3 実験室の安全設備基準と、安全設備及び運営基準

BSL実験室の安全設備基準

	BSL			
	1	2	3	4
実験室の独立性*1	不要	不要	本学では 取扱い等をしない。	
汚染除去時の実験室気密性	不要	不要		
換気：				
内側への気流	不要	不要		
制御換気系	不要	不要		
排気のHEPAろ過	不要	不要		
入口部二重ドア（インターロック*2）	不要	不要		
エアロック*3	不要	不要		
エアロック＋シャワー	不要	不要		
前室*4	不要	不要		
排水処理*5	不要	不要		
オートクレーブ：				
管理区域内	不要	必要		
実験室内	不要	望ましい		
両面オートクレーブ	不要	不要		
生物学用安全キャビネット	不要	必要*6		
作業従事者の安全監視機能*7	不要	不要		

- * 1 施設内の通常の人の流れからの実質的，機能的隔離
- * 2 二重ドアで構成される部屋は前室に相当する。なお，インターロックとは，同時に2枚の扉が開放されないような機構を有するドアのことをいう。
- * 3 エアロックとは気圧を保つために設ける機構のこと。通常は複数の扉を設け，インターロックドアとなっている。
- * 4 実験室につながる隣室
- * 5 一般排水処理とは異なる消毒滅菌処理のことをいう。
- * 6 エアロゾルの発生のおそれがある場合は，安全キャビネットが必要
- * 7 たとえば，観察用窓，監視カメラ，インターフォン，双方向性モニター設備など

B S L 実験室の安全設備及び運営基準

B S L 1

- (1) 通常の微生物学実験室を用い、特別の隔離の必要はない。
- (2) 一般外来者は実験室の管理者の許可及び管理者管理者が指定した立ち会いのもと立ち入ることができる。

B S L 2

- (1) 通常の微生物学実験室を限定した上で用いる。
- (2) エアロゾル発生のおそれのある病原体等の実験は必ず生物学用安全キャビネットの中で行う。
- (3) オートクレーブは実験室内、ないし前室（実験室につながる隣室）あるいはさらにその周囲の部屋に設置し使用する。できるだけ実験室内の置くことが望ましい。
- (4) 実験室の入り口には国際バイオハザード標識を表示する。
- (5) 実験室の入り口は施錠できるようにする。
- (6) 実験室のドアは常時閉め、一般外来者の立ち入りを禁止する。

B S L 3・4 本学では取扱い等をしない。

別表4 A B S L 動物実験室の安全設備基準と、安全設備及び運営基準

研究用微生物等取扱い動物実験施設のA B S L 分類，実験手技，安全機器及び設備基準

A B S L 1～4 の動物実験を実施し，また動物実験施設を運営するために，各A B S L に対応する実験手技，安全機器及び設備基準について下表にまとめた。

A B S L	実験手技	安全機器	設備基準
1	通常動物実験の条件として， ・標準動物実験手技 ・標準微生物実験手技 ・立入制限 ・専用服 を要する。	特になし。	通常動物実験設備の条件として， ・動物実験施設の独立性 ・立入者の管理・記録・動物逸走防止対策・昆虫・野ねずみ等の侵入防止 ・室内，飼育装置などの洗浄・消毒可能な仕様を要する。
2	A B S L 1 の要件に加え， ・防護服 ・国際バイオハザード標識表示 ・糞尿・ケージ等の滅菌処理，移動用密閉容器を要する。	エアロゾル発生のおそれがある場合は陰圧飼育装置及びBSC，動物実験施設内にオートクレーブ	A B S L 1 の要件に加え， ・立入者の制限 ・動物安全管理区域からの動物逸走防止対策を要する。
3	本学では取扱い等をしない。		
4			

* 略語：B S C：生物学用安全キャビネット

別表A 研究用微生物等のレベル（BSL）分類

研究用微生物等のレベル（BSL）を下記の通り分類する。ただし、「哺乳動物等」とは、哺乳綱及び鳥綱に属する動物でヒトを含む。

レベル外

一部の微生物を例として、次を掲げる。ただし、この分類にない細菌については、日本細菌学会が公開する「病原細菌のBSLレベル」に準じて判断する。

Bacillus subtilis

Thermus属細菌（*T. thermophilus*、*T. aquaticus*、*T. flavus*、*T. caldophilus*及び*T. ruber*に限る。）

Pseudomonas putida

Saccharomyces cerevisiae

Schizosaccharomyces pombe

Pichia pastoris

Aspergillus oryzae

Neurospora crassa

BSL 1

レベル外の微生物以外の微生物において、次に掲げるもの

- （１）原核生物及び真菌のうち、BSL 2あるいはBSL 3でないもの
- （２）原虫のうち、BSL 2でないもの
- （３）寄生虫のうち、BSL 2でないもの
- （４）ウイルス又はウイロイドのうち、イ、ロ及びハに掲げるもの

イ 原核生物を自然宿主（自然界でウイルスが感染し得る生物をいう。以下同じ。）とするウイルス（哺乳動物等に対する病原性を、原核生物に持たせないものに限る。）

ロ 真核生物を自然宿主とするウイルス及びウイロイドのうち、BSL 2、BSL 3あるいはBSL 4でないもの（哺乳動物等に対する病原性がないものに限る。）

ハ 次項

（５）BSL 2、BSL 3あるいはBSL 4とするウイルス及びウイロイド（Rinderpest virus及びVaccinia virusを除き、Vaccinia virusのLC16m8株を含む。）の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第14条第1項（同法第83条第1項において適用する場合を含む。）の規定により承認を受けた生ワクチン株（以下「承認生ワクチン株」という。）

BSL 2

（１）原核生物のうち、次に掲げるもの（哺乳動物等に対する病原性がないものを除く。）

Actinobacillus capsulatus

Actinobacillus equuli

Actinobacillus lignieresii
Actinobacillus pleuropneumoniae
Actinobacillus suis
Actinobacillus ureae (旧分類名 *Pasteurella ureae*)
Actinomadura madurae
Actinomadura pelletieri
Actinomyces bovis
Actinomyces israelii
Actinomyces viscosus
Aeromonas hydrophila
Aeromonas sobria
Aeromonas veronii
Anaplasma bovis
Anaplasma marginale
Anaplasma ovis
Anaplasma phagocytophilum
Arcanobacterium pyogenes (旧分類名 *Actinomyces pyogenes*)
Avibacterium paragallinarum (別名 *Haemophilus paragallinarum*) *Bacillus cereus*
Bacteroides fragilis
Bartonella bacilliformis
Bartonella clarridgeiae
Bartonella henselae
Bartonella quintana
Bartonella vinsonii
Bordetella avium
Bordetella bronchiseptica
Bordetella parapertussis
Bordetella pertussis
Borrelia 属全種
Brachyspira hyodysenteriae (別名 *Serpulina hyodysenteriae*)
Brachyspira pilosicoli
Burkholderia cepacia
Campylobacter coli
Campylobacter fetus
Campylobacter jejuni
Capnocytophaga canimorsus
Capnocytophaga cynodegmi
Capnocytophaga gingivalis
Capnocytophaga granulosa
Capnocytophaga haemolytica

Capnocytophaga leadbetteri
Capnocytophaga ochracea
Capnocytophaga sputigena
Chlamydia muridarum
Chlamydia suis
Chlamydia trachomatis
Chlamydophila abortus
Chlamydophila caviae
Chlamydophila felis
Chlamydophila pecorum
Chlamydophila pneumoniae
Chlamydophila psittaci (四種)
Chromobacterium violaceum
Citrobacter rodentium
Clostridium botulinum (二種)
Clostridium chauvoei
Clostridium colinum
Clostridium difficile
Clostridium haemolyticum
Clostridium histolyticum
Clostridium novyi
Clostridium perfringens
Clostridium septicum
Clostridium sordellii
Clostridium sporogenes
Clostridium tetani
Corynebacterium diphtheriae
Corynebacterium jeikeium
Corynebacterium kutscheri
Corynebacterium pseudodiphtheriticum
Corynebacterium pseudotuberculosis
Corynebacterium renale
Corynebacterium ulcerans
Ehrlichia canis
Ehrlichia chaffeensis
Ehrlichia ewingii
Ehrlichia muris
Elizabethkingia meningoseptica (旧分類名Chryseobacterium meningosepticum)
Enterococcus faecalis (バンコマイシン耐性株に限る。)
Enterococcus faecium (バンコマイシン耐性株に限る。) Erysipelothrix rhusiopathiae

Erysipelothrix tonsillarum
Escherichia albertii
*Escherichia coli*の腸管、尿路等における病原性を有する株（四種：腸管出血性大腸菌に限る）
Facklamia sourekii
Fluoribacter bozemanae
Fluoribacter dumoffii
Fluoribacter gormanii
Francisella novicida
Francisella philomiragia
Francisella tularensis subsp. *holarctica*
Francisella tularensis subsp. *mediasiatica*
Fusobacterium necrophorum
Haemophilus aegyptius
Haemophilus ducreyi
Haemophilus influenzae
Haemophilus parasuis
Helicobacter bilis
Helicobacter felis
Helicobacter heilmannii
Helicobacter hepaticus
Helicobacter pylori
Histophilus somni（別名*Haemophilus somnus*）
Klebsiella granulomatis
Klebsiella oxytoca
Klebsiella pneumoniae
Lawsonia intracellularis
*Legionella*属全種
Leptospira interrogans
Listeria ivanovii
Listeria monocytogenes
Mannheimia haemolytica（旧分類名*Pasteurella haemolytica*）
Moraxella bovis
Moraxella catarrhalis
Moraxella ovis
Mycobacterium avium subsp. *avium*
Mycobacterium avium subsp. *paratuberculosis*
Mycobacterium bovis（BCG株に限る。）
Mycobacterium caprae（届出）
Mycobacterium chelonae

Mycobacterium fortuitum
Mycobacterium gastri
Mycobacterium genavense
Mycobacterium haemophilum
Mycobacterium intracellulare
Mycobacterium kansasii
Mycobacterium leprae
Mycobacterium malmoense
Mycobacterium marinum
Mycobacterium microti
Mycobacterium mucogenicum
Mycobacterium paratuberculosis
Mycobacterium scrofulaceum
Mycobacterium simiae
Mycobacterium szulgai
Mycobacterium ulcerans
Mycobacterium xenopi
*Mycoplasma*属全種 (*Mycoplasma mycoides* subsp. *mycoides*を除き、*Mycoplasma mycoides* subsp. *mycoides* (V株) を含む。)
Neisseria gonorrhoeae
Neisseria meningitidis
Neorickettsia risticii
Neorickettsia sennetsu
Nocardia abscessus
Nocardia aobensis
Nocardia arthritidis
Nocardia asteroides
Nocardia brasiliensis
Nocardia cyriacigeorgica
Nocardia elegans
Nocardia farcinica
Nocardia niigatensis
Nocardia nova
Nocardia otitidiscaviarum
Nocardia paucivorans
Nocardia puris
Nocardia vinacea
Pasteurella multocida (出血性敗血症又は家きんコレラ由来ではない株に限る。)
Pasteurella pneumotropica
Pasteurella trehalosi

Photobacterium damsela
Plesiomonas shigelloides
Proteus Mirabilis
Proteus vulgaris
Pseudomonas aeruginosa
Rhodococcus equi
Riemerella anatipestifer
*Salmonella*属全種 (*S. Enterica* subsp. *Enterica* serovar *Paratyphi A*, *S. Enterica* subsp. *Enterica* serovar *Typhi*, *S. Enterica* subsp. *Enterica* serovar *Typhimurium*のTA98株、TA100株及びTA1535株並びに*S. Subterranea*を除く。)
Serratia marcescens
*Shigella*属全種 (*S. sonnei*, *S. dysenteriae*, *S. flexneri*, *S. boydii*は四種)
Simkania negevensis
Staphylococcus aureus subsp. *anaerobius*
Staphylococcus aureus subsp. *aureus*
Staphylococcus hyicus
Streptobacillus moniliformis
Streptococcus agalactiae
Streptococcus anginosus
Streptococcus canis
Streptococcus dysgalactiae subsp. *dysgalactiae*
Streptococcus dysgalactiae subsp. *equisimilis*
Streptococcus equi subsp. *equi*
Streptococcus equi subsp. *ruminatorum*
Streptococcus equi subsp. *zooepidemicus*
Streptococcus intermedius
Streptococcus parasanguinis
Streptococcus pneumoniae
Streptococcus porcinus
Streptococcus pyogenes
Streptococcus sanguinis
Streptococcus sinensis
Streptococcus suis
Streptococcus uberis
Tatlockia maceachernii
Tatlockia micdadei
Taylorella equigenitalis
Treponema carateum
Treponema pallidum
Treponema pertenue
Tropheryma whipplei

Ureaplasma urealyticum
Vibrio cholerae (serovar 01, 0139は四種)
Vibrio fluvialis
Vibrio mimicus
Vibrio parahaemolyticus
Vibrio vulnificus
Yersinia enterocolitica
Yersinia pseudotuberculosis

(2) 真菌のうち、次に掲げるもの（哺乳動物等に対する病原性がないものを除く。）

Aspergillus flavus（毒素産生株に限る。）
Aspergillus fumigatus
Aspergillus parasiticus（毒素産生株に限る。）
Candida albicans
Cladosporium carrionii
Cladosporium trichoides
Cryptococcus gattii
Cryptococcus neoformans
Epidermophyton floccosum
Exophiala dermatitidis
Fonsecaea pedrosoi
*Fusarium*属全種（毒素産生株に限る。）
*Microsporium*属全種
*Penicillium*属全種（毒素産生株に限り、*Penicillium marneffeii*を除く。）
*Pneumocystis*属全種
Sporothrix schenckii
*Trichophyton*属全種

(3) 原虫のうち、次に掲げるもの（哺乳動物等に対する病原性がないものを除く。）

*Acanthamoeba*属全種
*Babesia*属全種
Balamuthia mandrillaris
Balantidium coli
*Besnoitia*属全種
Buxtonella sulcata
*Caryospora*属全種
*Cryptosporidium*属全種 (*Cryptosporidium parvum* (genotype I, II)は四種)
*Cyclospora*属全種
*Eimeria*属全種
*Entamoeba*属全種

Giardia属全種
Haemoproteus属全種
Hammondia hammondi
Hartmannella属全種
Hepatocystis属全種
Hepatozoon属全種
Hexamita属全種
Histomonas meleagridis
Isospora 属全種
Leishmania属全種
Leucocytozoon属全種
Microsporidium門全種
Naegleria属全種
Neospora caninum
Pentatrichomonas hominis
Plasmodium属全種
Sarcocystis属全種
Tetratrichomonas gallinarum
Theileria属全種
Toxoplasma gondii
Trichomonas vaginalis
Tritrichomonas foetus
Trypanosoma属全種

(4) 寄生虫のうち、次に掲げるもの（哺乳動物等に対する病原性がないものを除く。）

Abbreviata属全種
Acanthoparyphium属全種
Aelurostrongylus属全種
Agriostomum属全種
Alaria属全種
Amoebotaenia属全種
Ancylostoma属全種
Angiostrongylus属全種
Anisakis属全種
Anoplocephala属全種
Ascaridia属全種
Ascaris属全種
Ascarops属全種
Aspiculuris属全種
Avioserpens属全種

Avitellina属全種
Baylisascaris属全種
Bertiella属全種
Brachylaemus属全種
Brugia属全種
Bunostomum属全種
Calicophora属全種
Camallanus属全種
Capillaria属全種
Chabertia属全種
Cheilospirura属全種
Choanotaenia属全種
Clonorchis属全種
Cooperia属全種
Cordonema属全種
Cotugnia属全種
Cotylurus属全種
Craterostromum属全種
Crenosoma属全種
Cyathostoma属全種
Cyathostomum属全種
Cylicocyclus属全種
Cylicodontophorus属全種
Cylicospirura属全種
Cylicostephanus属全種
Davaincoides 属全種
Davainea属全種
Demodex canis
Dicrocoelium属全種
Dictyocaulus属全種
Digramma属全種
Dioctophyme属全種
Dipetalonema属全種
Diphyllbothrium属全種
Diplogonoporus属全種
Dipylidium属全種
Dirofilaria immitis
Dracunculus属全種
Draschia属全種
Echinocephalus属全種

Echinochasmus属全種
Echinococcus属全種
Echinostoma属全種
Elaeophora属全種
Enterobius属全種
Euparyphium属全種
Eurytrema属全種
Fasciola属全種
Fascioloides属全種
Fasciolopsis属全種
Filaroides属全種
Fimbriaria属全種
Fischoederius属全種
Gaigeria属全種
Gasterophilidae科全種
Gastrodiscoides属全種
Gigantobilharzia属全種
Globocepharus属全種
Gnathostoma属全種
Gongylonema属全種
Gyalocephalus属全種
Habronema属全種
Haemonchus contortus
Heligmosomoides polygyrus
Heterakis属全種
Heterobilharzia属全種
Heterophyes属全種
Himasthla属全種
Homalogaster属全種
Hymenolepis属全種
Hyostrongylus属全種
Hypoderaeum属全種
Inermicapsifer属全種
Kudoa septempunctata
Lagochilascaris属全種
Ligula属全種
Linguatula属全種
Litomosoides sigmodontis
Loa loa
Mammomonogamus属全種

Mansonella属全種
Mecistocirrus属全種
Mesocestoides 属全種
Metagonimus属全種
Metastrongylus属全種
Metroliasthes属全種
Microbilharzia属全種
Micropleura属全種
Microtetrameres属全種
Molineus属全種
Moniezia属全種
Muellerius属全種
Nanophyetus属全種
Necator属全種
Nematodirus属全種
Nippostrongylus brasiliensis
Notocotylus属全種
Oesophagodontus属全種
Oesophagostomum属全種
Oestrus属全種
Ollulanus属全種
Onchocerca属全種
Opisthorchis属全種
Ornithobilharzia属全種
Orthocoelium属全種
Osteophagostomum属全種
Ostertagia属全種
Oxyspirura属全種
Oxyuris属全種
Parafilaria属全種
Paragonimus属全種
Paramphistomum属全種
Paranoplocephala属全種
Parascaris属全種
Paryphostomum属全種
Passalurus属全種
Pharyngostomum属全種
Philometra属全種
Philometroides属全種
Physaloptera属全種

Physocephalus属全種
Plagiorchis属全種
Poteriostomum属全種
Probstmayria属全種
Prosthogonimus属全種
Protostrongylus属全種
Pseudoterranova属全種
Psoroptes属全種
Raillietina属全種
Rhabditis属全種
Schistosoma属全種
旋尾線虫タイプX
Setaria属全種
Simondsia属全種
Skrjabinema属全種
Sobolevicephalus属全種
Sparganum proliferum
Spirocerca属全種
Spirometra属全種
Spirura 属全種
Stephanofilaria属全種
Stephanurus属全種
Stichorchis属全種
Stilesia属全種
Strongyloides属全種
Strongylus属全種
Suifilaria属全種
Syngamus属全種
Synhimantus属全種
Taenia属全種
Tanqua属全種
Terranova属全種
Tetrameres属全種
Thelazia属全種
Thysaniezia属全種
Thysanosoma属全種
Toxascaris属全種
Toxocara属全種
Trichinella属全種
Trichobilharzia属全種

Trichostrongylus属全種

Trichuris属全種

Triodontophorus属全種

Uncinaria属全種

Wuchereria bancrofti

上記BSL2に指定された寄生虫のうち Leishmania, Trypanosoma 及び Plasmodium の媒介昆虫を用いた、又は Schistosoma, Angiostrongylus 等の媒介貝を用いた感染実験、並びにToxoplasma gondii, Echinococcus granulosus 及び E. multilocularis を用いての本来の終宿主での感染実験を行う時は、通常の微生物学的操作で感染を防ぎ得るものの、伝播者あるいは終宿主が排出する嚢子、卵、幼虫等を実験室内で処理するため、別途指定の実験施設を使用する。

指定寄生虫を用いての感染実験

[媒介動物を用いての感染実験]

媒介昆虫を用いた Leishmania., Trypanosoma 及び Plasmodium の感染実験にあたっては、媒介昆虫は完備せる飼育用昆虫ケージに入れ、二重の密閉扉を有する実験室内で行う。

また、媒介貝を用いた Schistosoma , Angiostrongylus 等の感染実験に当たっては、実験貝は完備した飼育装置内で飼育し、実験終了後の使用水並びに装置は熱処理可能な施設で行う。

[終宿主を用いての感染実験]

T. gondii 感染のネコ、E. granulosus 並びに E. multilocularis 感染のイヌ等を用いた実験に際しては完全な尿尿処理を行い得るケージを用いて排泄物の処理を行うと共に、実験終了後はケージ並びに実験室が熱処理できる施設で行う。

(5) 真核生物を自然宿主とするウイルスのうち、イ及びロに掲げるもの
イ 次に掲げるもの（承認生ワクチン株を除く。）

Adenovirus

Aichi virus

Alcelaphine herpesvirus 1 (届出)

Apoi virus

Aroa virus

Asama virus

Avian encephalomyelitis virus

Avian enterovirus

Avian hepatitis E virus

Avian metapneumovirus (別名Turkey rhinotrachitis virus)

Avian paramyxovirus (Newcastle disease virus (別名Avian paramyxovirus 1) を含

む。) (届出)

Avian orthoreovirus

Avian retrovirus

Aviastrovirus

Avipoxvirus

Border disease virus

Borna disease virus

Bovine astrovirus

Bovine enterovirus 1, 2

Bovine ephemeral fever virus

Bovine herpesvirus (Bovine herpesvirus 1 (別名Infectious bovine rhinotracheitis virus) 及び

Bovine herpesvirus 2 (別名Bovine mammillitis virus) を含む。)

Bovine kobuvirus

Bovine papular stomatitis virus

Bovine respiratory syncytial virus

Bovine rhinovirus 1, 2, 3

Bovine viral diarrhea virus

Canine distemper virus

Canine herpesvirus

Chicken anemia virus

Cowpox virus

Coronavirus (SARS coronavirusを除く。)

Cytomegalovirus

Dengue virus (四種)

Duck hepatitis virus

Duck hepatitis B virus

Duck herpesvirus 1 (別名Duck plague virus、 Duck enteritis virus)

Epstein-Barr (略称EB) virus

Ectromelia virus

Equine arteritis virus

Equine herpesvirus

Equine infectious anemia virus (届出)

Equine rhinovirus (Equine rhinitis A virus及びEquine rhinitis B virusを含む。)

Feline herpesvirus

Feline morbillivirus

Fukuoka virus

GB virus B

Getah virus

Goatpox virus

Hazara virus
 Hepatitis A virus
 Hepatitis B virus
 Hepatitis C virus
 Hepatitis D virus
 Hepatitis E virus
 Hepatitis G virus
 Herpes simplex virus 1, 2
 Horsepox virus
 Human astrovirus
 Human enterovirus A, B, C, D
 Human herpesvirus 6, 7, 8
 Human immunodeficiency virus (略称HIV) 1 (増殖力等欠損株 (自立的な増殖力及び感染力を保持せず、かつ、哺乳動物等に対する病原性がない株であつて、使用等を通じて自立的な増殖力及び感染力又は病原性を獲得することがないものをいう。以下同じ。)に限る。)
 Human metapneumovirus
 Human parechovirus
 Human respiratory syncytial virus
 Human rhinovirus A
 Human rhinovirus B
 Human rhinovirus C
 Ilheus virus
 Infectious bursal disease virus
 Infectious laryngotracheitis virus
 Influenza virus (高病原性株を除く。) (要管理、)
 Japanese encephalitis virus (四種)
 Junin virus (Candid#1株に限る。)
 Khabarovsk virus
 Lactate dehydrogenase-elevating virus
 Langat virus
 Lagovirus
 LCM (Lymphocytic choriomeningitis) virus
 Ljungan virus
 Mammalian retrovirus (Human immunodeficiency virus (略称HIV) 1, 2を除き、Human T-cell leukemia lymphoma virus (略称HTLV) 1, 2を含む。)
 Marek's disease virus
 Measles virus
 Meleagrid herpesvirus 2 (別名Turkey herpesvirus)

Molluscum contagiosum virus
Monkeypox virus (三種)
Mumps virus
Murid herpesvirus 1, 2, 8
Murid herpesvirus 4, 7
Murine pneumonia virus (別名Pneumo virus of mice (略称PVM))
Myxoma virus
Nairobi sheep disease virus
Nelson Bay orthoreovirus
Norovirus
Oita virus
O'Nyong-Nyong virus
Orbivirus (African horse sickness virus を除く。)
Orf virus
Orthobunyavirus
Ovine herpesvirus 1 (別名Ovine pulmonary adenomatosis associated herpesvirus)
Ovine herpesvirus 2 (届出)
Papillomavirus
Parainfluenza virus (Sendai virusを含む。)
Parvovirus (Adeno-associated virusを除き、Human parvovirus B19を含む。)
Pichinde virus
Poikilothermal vertebrate retrovirus
Poliovirus 1, 2, 3 (四種)
Polyomavirus (メルケル細胞ポリオーマウイルスを含む。)
Porcine astrovirus
Porcine circovirus
Porcine enterovirus B (旧分類名Porcine enterovirus 9, 10)
Porcine reproductive and respiratory syndrome virus
Porcine sapelovirus (旧分類名Porcine enterovirus 8, Porcine enterovirus A)
Porcine teschovirus
Prospect Hill virus
Pseudocowpox virus
Psittacine circovirus
Rabies virus (固定株及び弱毒化株に限る。)
Rio Bravo virus
Ross river virus
Rotavirus
Rubella virus
Sapovirus
Semliki Forest virus (増殖力等欠損株に限る。)

Sheeppox virus
Shope fibroma virus
Simian enterovirus A
Simian virus 5
Simian herpesvirus (Cercopithecine herpesvirus 1 (別名B-virus) 及びHerpes ateles virusを除く。)
Sindbis virus
Suid herpesvirus 1 (別名Pseudorabies virus、Aujeszky's disease virus)
Suid herpesvirus 2 (別名Pig cytomegalovirus)
Swinepox virus
Swine vesicular disease virus (届出)
Tacaribe virus
Tanapox virus
Theilovirus (Murine encephalomyelitis virus (別名Encephalomyocarditis (略称EMC) virus) を含
む。)
Torovirus
Thottapalayam virus
Torque teno (略称TT) virus
Tula virus
Varicella-zoster virus
Vesicular exanthema of swine virus (届出)
Vesicular stomatitis Alagoas virus (届出)
Vesicular stomatitis Indiana virus (届出)
Vesicular stomatitis New Jersey virus (届出)
Vesivirus
Woodchuck hepatitis virus
Yaba monkey tumor virus
Yokose virus
Zika virus

ロ 次に掲げるもの

~~Rinderpest virus (生ワクチン株に限る。)~~ (届出)
Vaccinia virus (LC16m8株を除く。)

(6) その他

Botulinum toxin (二種)
Shiga toxin (四種)
アフラトキシン
アブリン

ウェルシュ菌毒素

黄色ブドウ球菌毒素（腸管毒素、アルファ毒素及び毒素性ショック症候群毒素）

コノトキシン

コレラ毒素

志賀毒素(ペロ毒素)※

ジアセトキシシシルペノール毒素

テトロドトキシン

ビスカムアルBUMレクチン

ボツリヌス毒素※

ボルケンシン

ミクロシスチン

モデシン

HT-2 トキシン

T-2 トキシン

Prions

Mammalian Prions (Agents of Spongiform Encephalopathies)

Scrapie

Bovine spongiform encephalopathy (BSE)

Creutzfeldt-Jakob disease (CJD)

環境中への漏出や拡散等により、重大な産業の被害、既存の生態系の汚染・破壊等を発生されるおそれがある微生物（コイヘルペスウイルス、カエルツボカビ、ラナウイルス等）

B S L 3

(1) 原核生物のうち、次に掲げるもの（哺乳動物等に対する病原性がないものを除く。）

Bacillus anthracis (34F2株を除く。) (二種)

*Brucella*属全種 (三種) (届出)

Burkholderia mallei (三種)

Burkholderia pseudomallei (三種)

Coxiella burnetii (三種)

Francisella tularensis subsp. *tularensis* (二種)

Mycobacterium africanum

Mycobacterium bovis (届出)

Mycobacterium tuberculosis (三種、四種)

Mycoplasma mycoides subsp. *mycoides* (V株を除く。) (要管理)

Orientia tsutsugamushi

Pasteurella multocida (出血性敗血症又は家きんコレラ由来ではない株を除く。) (届出)

Rickettsia aeschlimannii

Rickettsia africae

Rickettsia akari

Rickettsia amblyommii
Rickettsia australis
Rickettsia canadensis
Rickettsia conorii
Rickettsia felis
Rickettsia heilongjiangensis
Rickettsia helvetica
Rickettsia honei
Rickettsia japonica (三種)
Rickettsia massiliae
Rickettsia mongolotimonae
Rickettsia montana
Rickettsia parkeri
Rickettsia prowazekii (三種)
Rickettsia raoultii
Rickettsia rhipicephali
Rickettsia rickettsii (三種)
Rickettsia sibirica
Rickettsia slovaca
Rickettsia typhi
Salmonella enterica subsp. *enterica* serovar *Paratyphi A* (四種)
Salmonella enterica subsp. *Enterica* serovar *Typhi* (四種)
Salmonella serovar *Gallinarum* (届出)
Salmonella biovar *Pullorum* (届出)
Yersinia pestis (二種)

(2) 真菌のうち、次に掲げるもの（哺乳動物等に対する病原性がないものを除く。）

Blastomyces dermatitidis
Coccidioides immitis (三種)
Coccidioides posadasii
Histoplasma属全種
Paracoccidioides brasiliensis
Penicillium marneffei

(3) 真核生物を自然宿主とするウイルスのうち、次に掲げるもの（承認生ワクチン株を除く。）

African horse sickness virus (要管理) r
African swine fever virus (重点)
Andes virus
Aravan virus

Ash River virus
Australian bat lyssavirus
Camp Ripley virus
Cao Bang virus
Cercopithecine herpesvirus 1 (別名Simplexvirus B-virus) (三種)
Chikungunya virus
Classical swine fever virus (別名Hog cholera virus) (要管理)
Colorado tick fever virus
Dobrava virus
Duvenhage virus
Eastern equine encephalitis virus (三種)
European bat lyssavirus
Foot-and-mouth disease virus (重点)
Hantavirus Andes virus (三種)
Hantavirus Sin Nombre virus (三種)
Hantavirus Seoul virus (三種)
Hantavirus Dobrava-Belgrade virus (三種)
Hantavirus New York virus (三種)
Hantavirus Bayou virus (三種)
Hantavirus Hantaan virus (三種)
Hantavirus Puumala virus (三種)
Hantavirus Black Creek Canal virus (三種)
Hantavirus Laguna Negra (三種)
Herpes ateles virus
Human immunodeficiency virus (略称HIV) 1 (増殖力等欠損株を除く。), 2
Imjin virus
Influenza virusの高病原性株 (四種) (要管理)
Irkut virus
Jemez Springs virus
Khujand virus
Kyasanur Forest disease virus (三種)
Lagos bat virus
Laguna Negra virus
Louping ill virus
Lumpy skin disease virus
Luna virus
Maporal virus
Mayaro virus
MERS coronavirus (三種)
Mobala virus

Mokola virus
 Mopeia virus
 Murray Valley encephalitis virus
 Negishi virus
 New York virus
 Omsk hemorrhagic fever virus (三種)
 Peste-des-petitiis ruminant virus (要管理)
 Powassan virus
 Puumala virus
 Rabies virus (固定株及び弱毒化株を除く。) (三種)
 Rift Valley fever virus (三種)
 Rinderpest virus (重点)
 Saaremaa virus
 SARS coronavirus (二種)
 Seewis virus
 Semliki Forest virus (増殖力等欠損株を除く。)
 Seoul virus
 Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus (別名SFTS virus) (三種)
 Sin Nombre virus
 St. Louis encephalitis virus
 Tacaribe virus
 Tanganya virus
 Thailand virus
 Tick-borne encephalitis virus (Russian spring-summer encephalitis virus を含む。) (三種)
 Venezuelan equine encephalitis virus (三種)
 West Caucasian bat virus
 Western equine encephalitis virus (三種)
 West Nile virus (Kunjin virusを含む。) (四種)
 Yellow fever virus (四種)

B S L 4

真核生物を自然宿主とするウイルスのうち、次に掲げるもの（承認生ワクチン株を除く。）

Bundibugyo ebolavirus (一種)
 Chapare virus (一種)
 Crimean-Congo hemorrhagic fever virus (一種)
 Guanarito virus (一種)
 Hendra virus (三種)
 Junin virus (Candid#1株を除く。) (一種)

Lake Victoria marburgvirus (一種)
Lassa virus (一種)
Machupo virus (一種)
Nipah virus (三種)
Reston ebolavirus (一種)
Sabia virus (一種)
Sudan ebolavirus (一種)
Tai Forest ebolavirus (別名Ivory Coast ebolavirus) (一種)
Variola virus (major, minor) (一種)
Zaire ebolavirus (一種)

注：感染症法の定める特定病原体等には（一種）、（二種）、（三種）又は（四種）を付した。家伝法が定める（重点）、（要管理）、（届出）を付した。

別表B 微生物の取扱等に係わるその他の法令等

●家畜伝染病予防法の定める監視伝染病等（家畜伝染病、届出伝染病）の病原体及び当該病原体の感染細胞等は、輸入禁止品であるが、試験研究目的やその他特別な事由がある場合に限り、当該病原体を動物検疫所気付けで輸入することを条件に農林水産大臣の輸入許可証を取得した場合、輸入することができる。対象となる監視伝染病等は以下のとおりである。感染症法と重複する微生物の場合、それぞれの手続きを必要とすることに留意する。

家畜伝染病

牛疫、牛肺疫、口蹄疫、流行性脳炎、狂犬病、水泡性口炎、リフトバレー熱、炭疽、出血性敗血症、ブルセラ病、結核病、ヨーネ病、ピロプラズマ病（バベシア・ビゲミナ、バベシア・ボビス、バベシア・エクイ、バベシア・カバリ、タイレリア・パルバ、タイレリア・アヌラタに限る）、アナプラズマ病（アナプラズマ・マージナレに限る）、伝達性海綿状脳症、鼻疽、馬伝染性貧血、アフリカ馬疫、小反芻獣疫、豚コレラ、アフリカ豚コレラ、豚水泡病、家きんコレラ、高病原性鳥インフルエンザ、低病原性鳥インフルエンザ、ニューカッスル病、家きんサルモネラ感染症、サルモネラ（プロローラム、サルモネラ・ガリナルムに限る）、腐蛆病

届出伝染病

ブルータング、アカバネ病、悪性カタル熱、チュウザン病、ランピースキン病、牛ウイルス性下痢・粘膜病、牛伝染性鼻気管炎、牛白血病、アイノウイルス感染症、イバラキ病、牛丘疹性口炎、牛流行熱、類鼻疽、破傷風、気腫疽、レプトスピラ症（レプトスピラ・ポモナ、レプトスピラ・カニコラ、レプトスピラ・イクテロヘモリジア、レプトスピラ・グリポティフォーサ、レプトスピラ・ハージョ、レプトスピラ・オータムナーリス、レプトスピラ・オーストラーリスによるものに限る）、サルモネラ症、（サルモネラ・ダブリン、サルモネラ・エンテリティディス、サルモネラ・ティフィムリウム及びサルモネラ・コレラエスリスによるものに限る）、牛カンピロバクター症、トリパノソーマ病、トリコモナス病、ネオスポラ症、牛バエ幼虫症、ニパウイルス感染症、馬インフルエンザ、馬ウイルス性動脈炎、馬鼻肺炎、馬モルビリウイルス肺炎、馬痘、野兎病、馬伝染性子宮炎、馬パラチフス、仮性皮疽、伝染性膿疱性皮膚炎、ナイロビ羊病、羊痘、マエディ・ビスナ、伝染性無乳症、流行性羊流産、トキソプラズマ病、疥癬（カイセン）、山羊痘、山羊関節炎・脳脊髄炎、山羊伝染性胸膜肺炎、オーエスキー病、伝染性胃腸炎、豚エンテロウイルス性脳脊髄炎、豚繁殖・呼吸障害症候群、豚水泡疹、豚流行性下痢、萎縮性鼻炎、豚丹毒、豚赤痢、鳥インフルエンザ、低病原性ニューカッスル病、鶏痘、マレック病、伝染性気管支炎、伝染性喉頭気管炎、伝染性ファブリキウス嚢病、鶏白血病、鶏結核病、鶏マイコプラズマ病、ロイコチトゾーン病、あひる肝炎、あひるウイルス性腸炎、兎ウイルス性出血病、兎粘液腫、バロア病、チョーク病、アカリンダニ症、ノゼマ病

●「届出病原体」に該当する病原体は、輸入前に「家畜の伝染性疾病の病原体の輸入に関する届出書」を、動物検疫所を経由して農林水産大臣へ届け出ることにより、輸入することができる。

「動物検疫所HP 家畜伝染病予防法の解説 病原体の輸入手続 届出病原体の輸入について」<http://www.maff.go.jp/aqs/tetuzuki/88.html> を参照すること。

●「輸出貿易管理令別表第1及び外国為替管理令別表の規定に基づき貨物又は技術を定める省令（平成3年 通商産業省令第49号）」の定める以下のものを輸出する場合は、手続きを必要とすることに留意する。

（輸出貿易管理令別表第1 関係）

第2条の2 輸出令別表第1の3の2の項(一)の通商産業省で定めるものは次のいずれかに該当するものとする。

一 ウイルス（ワクチンを除く。）であって、アフリカ馬疫ウイルス、アフリカ豚コレラウイルス、アンデアン・ポテト・ラテン・ウイルス、アンデスウイルス、エボラウイルス、黄熱ウイルス、オーエスキー病ウイルス、オムスク出血熱ウイルス、オロポーチウイルス、ガナリトウイルス、キャサヌール森林病ウイルス、牛疫ウイルス、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、口蹄疫ウイルス、サビアウイルス、サル痘ウイルス、小反芻獣疫ウイルス、シンノンブレウイルス、水胞性口炎ウイルス、西部ウマ脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、ソウルウイルス、ダニ媒介脳炎ウイルス（ロシア春夏脳炎ウイルスに限る。）、チクングニアウイルス、チャパレウイルス、跳躍病ウイルス、テッシュエン病ウイルス、テクロウイルス、デング熱ウイルス、痘瘡ウイルス、東部ウマ脳炎ウイルス、ドブラバーベルグレッドウイルス、トリインフルエンザウイルス（H5又はH7のH抗原を有するものに限る。）、豚コレラウイルス、ニパウイルス、日本脳炎ウイルス、ニューカッスル病ウイルス、ハンタンウイルス、ブタエンテロウイルス9型、フニンウイルス、ブルータングウイルス、ベネズエラウマ脳炎ウイルス、ヘンドラウイルス、ポテト・スピンドル・チュバー・ウィロイド、ポワッサンウイルス、マチュポウイルス、マールブルグウイルス、マレー溪谷脳炎ウイルス、ヤギ痘ウイルス、羊痘ウイルス、ラグナネグラウイルス、ラッサウイルス、ランピースキ病ウイルス、リッサウイルス属のウイルス（狂犬病ウイルスを含む。）、リフトバレー熱ウイルス、リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス、ルヨウイルス又はロシオウイルス

二 細菌（ワクチンを除く。）であって、アルゲンチネン菌、ウェルシュ菌（イブシロン毒素産生型のものに限る。）、ウシ流産菌、オウム病クラミジア、牛肺疫菌（小コロニー型）、コクシエラ属バーネッティイ、コレラ菌、志賀赤痢菌、炭疽菌、チフス菌、腸管出血性大腸菌（血清型O26、O45、O103、O104、O111、O121、O145及びO157）、発疹チフスリケッチア、バラチ菌、鼻疽菌、ブタ流産菌、ブチリカム菌、ペスト菌、ボツリヌス菌、マルタ熱菌、山羊伝染性胸膜肺

炎菌 F38 株、野兔病菌又は類鼻疽菌

三 毒素（免疫毒素を除く。）であって、アフラトキシン、アブリン、ウェルシュ菌毒素（アルファ、ベータ 1、ベータ 2、イブシロン又はイオタの毒素に限る。）、HT-2 トキシン、黄色ブドウ球菌毒素（腸管毒素、アルファ毒素及び毒素性ショック症候群毒素）、コノトキシン、コレラ毒素、志賀毒素、ジアセトキシシルペノール毒素、T-2 トキシン、テトロドトキシン、ビスカムアルBUMレクチン、ベロ毒素及び志賀毒素様リボゾーム不活化蛋白質、ボツリヌス毒素、ボルケンシン、ミクロシスチン又はモデシン

四 前号に該当するもののサブユニット

五 細菌又は菌類であって、クラビバクター・ミシガネンシス亜種セドニカス、コクシジオイデス・イミチス、コクシジオイデス・ポサダシ、コクリオボールス・ミヤベアヌス、コレトリウム・カーハワイ、ザントモナス・アクソノポディス・パソバー・シトリ、ザントモナス・アルビリネアンス、ザントモナス・オリゼ・パソバー・オリゼ、シンキトリウム・エンドビオチウム、スクレロフトラ・ライシアエ・バラエティー・ゼアエ、セカフォラ・ソラニ、チレチア・インディカ、プクシニア・グラミニス種グラミニス・バラエティー・グラミニス、プクシニア・ストリイフォルミス、ペロノスクレロスポラ・フィリピネンシス、マグナボルテ・オリゼ、ミクロシクルス・ウレイ又はラルストニア・ソラナセアルム・レース 3 及び次亜種 2

六 第 1 号、第 2 号若しくは前号に該当するものの核酸の塩基配列のうち病原性を発現させるもの又は第 3 号若しくは第 4 号に該当するものを産生させる核酸の塩基配列を有する遺伝子又はこれを有する微生物（第 1 号、第 2 号又は前号に該当するものを除く。）

2 輸出令別表第 1 の 3 の 2 の項（二）の通商産業省令で定める仕様のものは、次のいずれかに該当するものとする。

一 物理的封じ込めに用いられる装置であって、次のいずれかに該当するもの

イ 物理的封じ込めのレベルが P 3 又は P 4 である施設用の装置

ロ クラス-Ⅲ安全キャビネットの有する物理的封じ込めの機能と同等の機能を有するアイソレータ

二 密閉式の発酵層であって、容量が 20 リットル以上のもの

三 連続式の遠心分離器であって、次のイからニまでのすべてに該当するもの

イ 流量が 1 時間につき 100 リットルを超えるもの

ロ 研磨したステンレス鋼又はチタンで構成されたもの

ハ 二重以上のメカニカルシールで軸封をしているもの

ニ 定置し、かつ、閉じた状態で蒸気により内部の滅菌をすることができるもの

四 クロスフローろ過用の装置であって、次のイ及びロに該当するもの

イ 有効ろ過面積の合計が 1 平方メートル以上のもの

ロ 定置した状態で内部の滅菌をすることができるもの

五 凍結乾燥機であって、次のイ及びロに該当するもの

イ 24 時間につき 10 キログラム超 1,000 キログラム未満の氷を作る能力を有するもの

ロ 蒸気により内部の滅菌をすることができるもの

六 物理的封じ込め施設において用いられる防護のための装置であって、換気用の装置を有する衣服であるもののうち、その内部を陽圧に維持することができるもの

七 粒子状物質の吸入の試験用の装置であって、吸入室の容積が1立方メートル以上のもの

●植物防疫法第22条の定める「指定有害動植物」に該当する以下の微生物の取扱等にあたっては、植物防疫法及び関連する法令等を遵守すること。

【指定有害動物】

1. いちご、かき、きく、きゅうり、たまねぎ、なす及びねぎのアザミウマ類
2. いちご、かんきつ、きく、キャベツ、きゅうり、すいか、だいこん、大豆、トマト、なし、なす、ねぎ、はくさい、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう及びレタスのアブラムシ類
3. いねのイネミズゾウムシ
4. オオタバコガ
5. かきのカイガラムシ類
6. かきのカキノヘタムシガ
7. 果樹カメムシ類
8. さとうきびのカンシャコバネナガカメムシ
9. 大豆の吸実性カメムシ類
10. コナガ
11. きゅうり及びトマトのコナジラミ類
12. いねのコブノメイガ
13. シロイチモジヨトウ
14. なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
15. いねのセジロウンカ
16. 茶のチャノホソガ
17. いねのツマグロヨコバイ
18. いねのトビイロウンカ
19. いねのニカメイガ
20. ハスモンヨトウ
21. いちご、おうとう、かんきつ、茶、なし、なす、もも及びりんごのハダニ類
22. かき、茶、なし及びりんごのハマキムシ類
23. 斑点米カメムシ類
24. いねのヒメトビウンカ
25. いねのフタオビコヤガ
26. さとうきびのメイチュウ類
27. ヨトウガ

【指定有害植物】

1. むぎの赤かび病菌

2. いねの稲こうじ病菌
3. いねのいもち病菌
4. いちごのうどんこ病菌
5. きゅうりのうどんこ病菌
6. なすのうどんこ病菌
7. ピーマンのうどんこ病菌
8. むぎのうどんこ病菌
9. トマト及びばれいしよの疫病菌
10. ぶどうの晩腐病菌
11. かんきつのかいよう病菌
12. キウイフルーツのかいよう病菌
13. きゅうりの褐斑病菌
14. てん菜の褐斑病菌
15. キャベツ及びレタスの菌核病菌
16. キャベツの黒腐病菌
17. なしの黒星病菌
18. りんごの黒星病菌
19. かんきつの黒点病菌
20. なしの黒斑病菌
21. ねぎの黒斑病菌
22. ねぎのさび病菌
23. いねの縞葉枯病ウイルス
24. たまねぎの白色疫病菌
25. きくの白さび病菌
26. てん菜の西部萎黄病ウイルス
27. もものせん孔細菌病菌
28. かんきつのそうか病菌
29. いちごの炭疽病菌
30. かきの炭疽病菌
31. 茶の炭疽病菌
32. いちご、きゅうり、トマト、なす、ぶどう及びレタスの灰色かび病菌
33. おうとうの灰星病菌
34. いねのばか苗病菌
35. トマトの葉かび病菌
36. りんごの斑点落葉病菌
37. きゅうりのべと病菌
38. たまねぎ及びねぎのべと病菌
39. ぶどうのべと病菌
40. いねのもみ枯細菌病菌
41. いねの紋枯病菌